

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	4-4-1		事業名	簡易型災害図上訓練(DIG)への支援
担当	危機管理対策室危機管理対策部危機管理対策課 鈴木 TEL211-3062			
全体計画				
事業内容	<p>防災をテーマに、参加者同士がコミュニケーションを図り、自分たちの住んでいる地域を知り、ゲーム感覚で災害時の対応を話し合う簡易型災害図上訓練(DIG)の普及及び地域が実施するDIGを支援するため、DIG普及員の養成及びDIGを実施する地域(町内会、連合町内会等)へのDIG普及員の派遣を行う。</p> <p>また、地域の防災リーダーや北海道防災マスターなどを対象に、地域におけるDIGの普及及びDIGの講師を務める「DIGマスター」を養成し、地域と市が協働で、DIGの普及及び実施を促進する。</p>	＜年度別の事業内容＞		
		<p>&lt;平成19年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DIG普及員養成研修の実施</li> </ul> <p>&lt;平成20年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DIG普及員養成研修の実施(2回)</li> <li>・市民向け普及用パンフレットの作成・配布</li> <li>・DIG普及員用マニュアルの作成</li> </ul> <p>&lt;平成21年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DIG普及員養成研修の実施</li> <li>・DIGマスターの養成、認定</li> </ul> <p>&lt;平成22年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DIG普及員養成研修の実施</li> <li>・DIGマスターの派遣</li> </ul>		
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	<p>簡易型災害図上訓練(DIG)を地域に普及させるための職員を養成する研修を実施 実施回数:2回 DIG普及員数:48名</p>		<p>・簡易型災害図上訓練(DIG)を地域に普及させるための職員を養成するための研修を実施した。 実施回数:2回 受講者:54名 ・市民向けDIG普及用パンフレットを作成・配布し、市民への周知を図り実施促進につなげた。 市民向けパンフレットの作成 8万部 ・DIG普及員が市民に対してDIGを行うための職員用マニュアルを作成した。</p>	
	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)	
	<p>・簡易型災害図上訓練(DIG)を地域に普及させるための職員を養成する研修を実施した。 実施回数:2回 対象:42名 ・簡易型災害図上訓練(DIG)を地域に普及させるために、地域住民の中から「DIGマスター」を養成するための研修を実施した。 実施回数:1回 ・DIG普及員が市民に対してDIGを行うための資材などの支援を行った。</p>		<p>・簡易型災害図上訓練(DIG)を地域に普及させるための職員を養成するための研修を実施した。 実施回数:1回 対象:30名 ・DIGを地域に普及させるために、「DIGマスター」により、地域でのDIGを実施した(実施回数:8回)。 ・DIG普及員が市民に対してDIGを行うための資材などの支援を行った。</p>	

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	4-4-1			事業名	簡易型災害図上訓練(DIG)への支援		
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)
DIGの実施支援回数		18回	17回	52回	54回	27回	100回
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 地域からのDIGの実施要望に対し、「DIGマスター」によりDIGを実施した。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] (該当なし) [人材協力] (該当なし) [情報協力] (該当なし) [その他の協力] (該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり</p>							
評価(成果)				課題			
<p>簡易型災害図上訓練(DIG)普及員養成研修を行うことにより、地域が実施するDIGに対しての支援をすることができ、地域の防災力の向上につながった。</p> <p>DIG普及員養成研修を実施 平成19年度 実施回数:2回 受講者:48名 平成20年度 実施回数:2回 受講者:54名 平成21年度 実施回数:2回 受講者:42名 平成22年度 実施回数:1回 受講者:30名 市民向けDIG普及用パンフレットを作成・配布した。 平成20年度 市民向けパンフレットの作成 8万部 DIG普及員用マニュアルを作成した。(平成20年度) 「DIGマスター」を養成するための研修を実施した。 平成21年度 実施回数:1回 認定者:23名 「DIGマスター」により、地域でのDIGを実施した。 平成22年度 「DIGマスター」による実施回数:8回 DIGを行うための資材などの支援を行った。 平成19年度 17回 参加者: 890人 平成20年度 52回 参加者:2,271人 平成21年度 54回 参加者:2,047人 平成22年度 27回 参加者: 929人</p>				<p>地域が行う簡易型災害図上訓練(DIG)は、防災意識の高揚や、地域の防災力の向上につながるが、住民への周知と積極的な実施について広報する必要がある。</p> <p>災害対応は、行政、市民等各々の主体的な参画と連携が重要であることから、職員及び市民等に対し、教育研修に係る受講の機会を確保・提供する必要がある。</p> <p>既に認定済みのDIGマスターに対しても、スキルアップのための研修等の機会を提供する必要がある。</p>			
今後の事業の予定・方向							
<p>防災意識の高揚や関心を高めるとともに、平成20年度に作成したDIGのパンフレットを活用して、市民へ周知と地域でのDIGの取り組みを推進していく。</p> <p>また、DIGマスターにも協力を求めつつ、引き続き地域の防災力向上に向けたDIGの実施に取り組んでいく。</p>							

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		4-4-1			事業名	簡易型災害図上訓練(DIG)への支援				
事業費の推移										
項目				19年度	20年度	21年度	22年度	計		
計画	事業費			280	2,920	900	900	5,000		
	財源内訳	国・道	支出金					0		
		市	債					0		
		その他の	他					0		
	一般財源			280	2,920	900	900	5,000		
予算	事業費			280	2,920	900	900	5,000		
	財源内訳	国・道	支出金	0	0	0	0	0		
		市	債	0	0	0	0	0		
		その他の	他	0	0	0	0	0		
	一般財源			280	2,920	900	900	5,000		
実績	事業費			280	2,761	820	209	4,070		
	財源内訳	国・道	支出金	0	0	0	0	0		
		市	債	0	0	0	0	0		
		その他の	他	0	0	0	0	0		
	一般財源			280	2,761	820	209	4,070		
事業費の進捗率				(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)					81.4%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》										
[19年度]										
[20年度]節約保留(146千円)、契約差金(134千円)										
[21年度]節約保留(45千円)、契約差金(35千円)										
[22年度]節約保留(45千円)、震災対応に伴う他事業への予算流用(646千円)										